

「十三夜と皆既月食 ～月と地球の物語～」

手作り望遠鏡教室 & 月のサイエンスカフェ

10月5日
開催

今秋おすすめ『月』の観賞日

【十三夜】10月6日 ・ 【皆既月食】10月8日

一年の中で最も空が澄みわたり月が明るく美しいこの季節、日本では十五夜と十三夜に観月を楽しむ風習があります。旧暦の8月15日と9月13日に、古くは貴族社会で月を観賞しながら詠歌や詩歌管弦の遊びが催され、江戸時代以降は収穫祭として広く一般社会で親しまれるようになりました。今年は9月8日、10月6日がそれぞれ十五夜と十三夜に該当します。

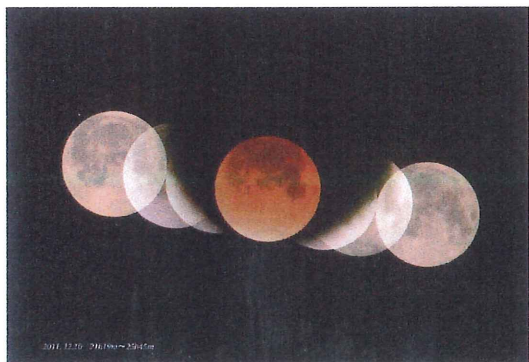
また、10月8日には日本全国で皆既月食を見ることができます。

山梨では部分食が始まるころから見ることができ、午後7時25分頃から1時間ほど皆既食が続き、赤銅色をした月を楽しむことができます。

県立図書館では、お月見にちなんで、月の満ち欠けや月食の仕組み、月の不思議、月から見た地球の姿など、

対話形式の【サイエンスカフェ(お話会)】を行います。お子さんから大人の方まで幅広い世代の方に気軽に参加していただける内容です。

【手作り望遠鏡教室】と合わせて、今年の「十三夜」「皆既月食」観賞にお役立てください。



(皆既月食:2011年12月10日)

講師:高橋真理子(星空工房アルリシャ 代表)

○プロフィール

星空工房アルリシャ 代表
山梨県立科学館天文アドバイザー
山梨県立大学非常勤講師、日大芸術学部非常勤講師

北海道大学理学部、名古屋大学大学院宇宙理学専攻でオーロラ研究。
1997年より県立科学館科学館天文担当としてプラネタリウム番組制作、解説、全国的に広がった「星つむぎの歌」の企画、市民グループ「星の語り部」活動などを展開。
2013年4月より独立してこれまでの活動を自ら「とどける」仕事へ。
2008年人間力大賞・文部科学大臣賞受賞。
2013年日本博物館協会活動奨励賞受賞。
公式サイト <http://alricha.net>



開催日時:2014年10月5日(日)

<Aコース> 手作り望遠鏡教室 時間/10:00~11:00 ※サイエンスカフェまで参加の場合は12:00終了



※画像はイメージです

会場:交流ルーム201・202

材料費:組立てキット2,000円 (定員25人) ※チケット販売

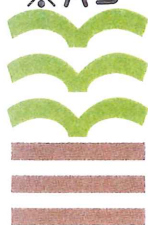
※望遠鏡組立て終了後、天体の導入方法も教えていただきます
※引き続き、Bコースに参加していただくことも可能です(要申し込み)

<Bコース> 月のサイエンスカフェ(お話会) 時間/11:00~12:00

会場:交流ルーム202

参加:無料 (定員25人) ※入場整理券配布

※Aコースのみ、Bコースのみ、A・Bコース両方 いずれもOKです



山梨県立
図書館 YAMANASHI
PREFECTURAL
LIBRARY

* 主催:山梨県立図書館指定管理者

(山梨文化会館・甲府ビルサービス・NTTファシリティーズ共同事業体)

* お問い合わせ先:山梨県立図書館指定管理者 TEL055-255-1041

※チケット販売、入場整理券配布はいずれも山梨県立図書館総合案内で行っています

※内容は変更になる場合があります